



“矢中の杜” 2012

NPO 法人 “矢中の杜” の守り人 年会報

活動報告



竜巻復興支援活動

2012年5月6日12時35分頃発生した竜巻により、矢中の社の位置する、つくば市北条地区は大きな被害を受けました。旧矢中邸は直撃こそ免れたものの、飛散した建材等により昭和初期の窓ガラス数十枚の破損をはじめ、屋根や壁、奥庭の大王松の損傷等の被害を受けました。

北条地区の被災を受けて、NPOでも従前から北条で活動していた北条街づくり振興会・株式会社里山建築研究所・有限会社結エディット・筑波大学の学生チームなどと協力し、復興支援活動を行いました。「北条街かど新聞」を発刊し、地域に必要な情報を提供すると同時に、地域の見回り活動、物資の配布などのほか「復興七夕まつり」の開催、アーティスト・ゴ布林博士による竜巻復興モニュメント「竜の子ゴ布林団地」の制作などを行いました。旧矢中邸でも建物は使える状態であったため、地域住民に邸宅で休息してもらう企画などを実施しました。

- ◀飛散した建材等により、窓ガラスを中心に被害を受けました。棧ごと大破したものや、部屋を突き抜け、間仕切りの破損もありました。(1・2段目)
- ◀街かど新聞(3段目左)として物資を持って地域を回ったり、「お花いっぱい作戦」(同右)で北条を飾り付けました。
- ◀復興七夕にて、ゴ布林博士と子供たちによる竜巻復興モニュメント「竜の子ゴ布林団地」お披露目(4段目左)と、復興七夕まつりの飾り付け(同中)。
- ◀復興盆踊りにて寄せられたメッセージ(4段目右)

邸宅修繕

旧矢中邸は築60年余が経過していたことによる経年劣化に加え、2011年の東日本大震災、2012年の竜巻とで被災し、構造、屋根、地盤等が大きく損傷したため、里山建築研究所に設計を依頼し、屋根や地盤の大掛かりな改修工事を行いました。改修工事にあたっては、茨城県等の補助金やその他助成金のほか、株式会社マノール*をはじめ多くの方々から寄付金をいただき、工事を行うことができました。

*旧矢中邸の施主である矢中龍次郎氏の創業した株式会社で、邸宅に用いられている建材等は現在も同社の製品として発売されています。

- ▼ 本館陸屋根の防水工事(上段左) ▼ 本館内玄関をジャッキアップし、以前からの歪みを修復しました。(同右)
- ▼▼ 別館階段床下のコンクリート打設(下段左) ▼▼ 本館西側の配管工事(同中)
- ▼▼ 以前より交流のあった「たてもの応援団」の方々が、東京で解体された昭和初期の建物からガラスを確保し、運搬・修復してくださいました。(下段右)





乙女のつくば道

前年度に続き、「つくば道」沿道で「乙女のつくば道」が開催されました。矢中の杜では2週にわたり「乙女の花嫁修業体験」(「礼儀作法」「お茶席」「お裁縫」の体験)、「花嫁写真と邸宅公開」(先輩花嫁の結婚写真の展示)「今日は私も着物女子♪」(着物の着付け教室)を行いました。また、矢中の杜で知り合った2人が実際に結婚するのに合わせ、花嫁行列と、北条に伝わる「提灯取替えの儀」を再現。当日は約200名もの方が集まり、北条の商店街を練り歩きました。

- ▲▲ 提灯取替えの儀。両家の提灯を「七回半」交換します。(上)
- ▲ 花嫁行列。北条の皆さんははじめ多くの方で賑わいました。(左)
- ▼ お裁縫の体験。慣れない運針(うんしん)は難しい!(右上段)
- ▼ お茶席の体験。細かな驚きがたくさんありました。(右中段)
- ▶ 花嫁写真の展示がずらっと並び、壮観でした。(右下段)

“守り人”育成講座

文化財保護制度や旧矢中邸の保存活動についての普及啓発と邸宅ガイドの養成を目的に、矢中の杜“守り人”育成講座を開講しました。文化財保護制度や、旧矢中邸の文化財的価値についての講義と、邸宅ガイドの演習とで構成しています。全3回の講座を修了された方は矢中の杜公式ガイドとして認定し、以後、邸宅公開の際にご活躍いただいています。2013年度も継続して開講しています。

邸宅清掃

2012年度も引き続き邸宅清掃を定期的に行いました。月例お掃除日には、NPO会員の造園屋さんのご協力により庭木の本格的な剪定を実現し、前庭や本館玄関前の植木が非常にすっきりしました。

また、2012年度から導入された「つくばスタイル科」という授業科目の一環として、北条小学校の児童に庭掃除に参加してもらいました。

ホームページ制作

デジタルハリウッド大学(東京都千代田区)とつくば市との竜巻復興協力の一環として、同大学のゼミ活動として「矢中の杜」のホームページが制作されました。約半年をかけて制作され、竜巻1周年に合わせて2013年5月に公開されました。

邸宅公開

旧矢中邸の歴史的背景や建築的特徴、文化的価値をより多くの人々に伝えるため、本年度も引き続きガイドツアー制による邸宅公開を行いました。竜巻の影響でしばらく中止しましたが、被災後の混乱も落ち着いて来た6月に再開しました。11月より、“守り人”育成講座の卒業生もガイドメンバーに加わり、活躍しています。

- ▲3回修了された方にはガイド認定証を授与。(2段目)
- ▲NPO会員の造園屋さんのご協力により、庭木の剪定を行い、非常にすっきりした外観になりました。(3段目)
- ▲今年も北条小の児童たちが大活躍です。(4段目)
- ▲完成したトップページ。矢中の杜のイメージに合わせてデザインされました。(5段目)
- ▶秋祭りの邸宅公開に合わせて、「うつわ展」を開催。(6段目)



2012年度 活動記録

- 5月 竜巻被害による復旧作業（7日）
「北条街かど新聞」に参加（10日～7月20日）
- 6月 宮清大蔵コンサート協力事業（23日）
- 9月 邸宅全体のガラス修繕
- 10月 宮清大蔵コンサート協力事業（6日）
“守り人”養成講座（第1回・第2回講義）を開講（13・27日）
- 11月 “守り人”養成講座（第3回ガイド演習）を開講（3～11日）
筑波山麓秋祭り2012 邸宅の特別公開（3～11日）
筑波山麓秋祭り2012 うつわ展を開催（3～11日）
筑波山麓秋祭り2012 宿泊体験を開催（3～4日・10～11日）
- 12月 デジタルハリウッド大学と共同でホームページの作成に着手
- 1月 本館陸屋根防水工事
別館屋根の修繕
- 2月 地域の伝統文化「提灯取替えの儀」に関する調査
本館西側石階段の修繕
- 3月 「乙女のつくば道」に参加（30日～4月3日）
別館階段ジャッキアップ・地盤補強工事
別館1階北側擁壁補強工事

メディア掲載

- NHK 「旧矢中邸竜巻被災について」（5月9日）
- NHK 「旧矢中邸竜巻被災について」（5月11日）
- 読売新聞 「竜巻から1ヶ月」（6月6日）
- 東京新聞 「竜巻から2ヶ月」（7月6日）
- 読売新聞 コラム「解」にて「七夕の願い」（7月7日）
- 茨城新聞 「がれきで復興モニュメント」（7月8日）
- 地域情報誌 ezpressvol.48 「矢中の杜紹介記事」（8月1日）
- ろうきんいきいきコミュニティ 「NPO紹介記事」（8月）

NPO 会員数 （2013年3月31日現在）

正会員	13名
友の会会員	19名
賛助会員	2名
ボランティア会員	18名